

令和6年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童生徒を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 複数の叙述を結び付けて総合的に判断し、様々な表現が読み手に与える効果について、自分の考えを明らかにしてまとめることができている。
- 目的や意図に応じて、事実と感想、意見を区別して書くなど書き表し方を工夫して、自分の考えが伝わるように書くことができている。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。

【算 数】

- 小数の計算力が身に付いている。
- 円グラフの特徴を近いし、割合を読み取ることができる。
- 複数の情報から必要な情報を取捨選択し、判断する問題に課題が見られる。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 友人関係に満足し、困りごとや不安があるときにはいつでも先生に相談できると感じている児童が多く、安心して学校生活をおくることができている。
- 授業が日常生活や将来につながっていると感じている児童が多く、前向きに学習に取り組むことができている。
- 生活をよりよくするために意見を出したり、地域や社会をよりよくするために何かをしたりしたいという意欲が高い。
- 1日の学習時間、読書時間が少ない傾向がある。

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・指導方法工夫改善教員を中心とした算数科の分割授業や自由進度学習の実施
- ・担任外教師と協働した補充学習の実施
- ・定着が不十分である内容の全職員での共通理解と重点的指導

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・表現や交流活動を位置付けた授業づくり
- ・算数科の分割授業の効果的な実施
- ・AIドリルを活用した個別学習の充実
- ・モジュールタイムにおけるAIドリルを利活用した学習の充実

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・個に応じた目標設定とふり返し活動（ふりかえりジャーナル）の活用
- ・地域の「ひと・もの・こと」を活用した探究的な学びの充実
- ・子ども主体の学級活動、協働できる行事の取組

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・通信や集会等を用いた家庭との連携・協力体制の強化